

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : codmokan@agate.plala.or.jp

支援会員・寄金 3,000円 (年額)
*会員には、本通信を配布します。



INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマントラスト/
運動会費納入
クラブファン取り組み
- p3: ↓ まおい情報
‘24年度方針案
- p4-5: ‘23 つどい
- p6-7: ↓ つどい向け
～アルバムなど制作
～小学部取り組み
- p8: エッセー、カレンダー
(付学生感想、他)

◆3/16:「'23 卒業修業のつどい」
会場ステージから生徒にむかって
(みんなが創ったイベント当日です)

「自由が丘月寒スクールは今まで以上に豊かな学校を目指します」

— 「子どもが主人公」の教育実践をさらに追求しながら—

認定NPO 法人代表理事・スクール学園長 大塚 勲

3月、卒業・修業のつどいを終えたスクールの常勤スタッフは、開校からほぼ1年となる長沼町の「まおい学びのさと小学校」を訪問、子ども達の学校生活を見学した。

教室に入るとどの生徒もすぐに親しげな表情で明るく迎えてくれ、自分たちの学校に関わる大人をすごく信頼していることがわかった。また、広い校舎のそれぞれの部屋や廊下で、どの生徒も自分の居心地の良い空間を満喫している姿から、安心して個性を發揮しながら学びや体験を重ねてきたこの学校のすばらしさを見たような気持ちになった。

熱心な生徒たちの誘いを受け、午後は体育館でダンスや民舞の発表を見せてもらった。そこには生徒の生き生きと輝く表情とともに、親たちの温かい眼差しもいっぱい、職員・生徒・保護者や現地NPOスタッフなど多くの気持ちと力を合わせて作る新しい学校の姿が見えて、月寒スクールのスタッフ一同、自分たちもさらに頑張る気持ちがわきあがった1日となった。

さて、新年度を迎えた月寒スクール。今年も様々な個性を持った小中学生が30名近く在籍する。それぞれの生徒の期待・希望を受けて、“子どもが主人公”を貫く教育実践を目指し、スタッフはもちろん、保護者の気持ちや力も合わせた創意・工夫とスクール運営が必要だと感じている。クラウドファンディングに寄せられた多くの協力者の期待にも応えた学校づくりを追求しなければならない。

これまでの経験を活かしながらも、それを越える新しい模索や挑戦もひるむことなく追求して、今まで以上に豊かな学校を目指して進んでいこうと、今、心を新たにしている。